学校番号	1101

令和８年度　工業科

教科	工業	科目	機械実習１	単位数	４単位	年次	２年次
使用教科書	２年実習指導書（本校作成）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

機械実習は、単に機器、装置のオペレート技術や、職業的技能を身に付けるだけではなく、安全衛生（５Ｓや報連相など）、技術者としての倫理観、環境及びエネルギーへの配慮について総合的に理解し、産業界を支える人材となることが目標です。実習の中では、機械製図や、機械設計、機械工作などの専門に関する座学や、理科、数学などの教科で学んだことを活用し、学習の効果を高めるよう工夫しましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技術】
金属加工や接合などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させる。
【思考力、判断力、表現力等】
実習課題に対して総合的に活用することのできる力を身に付けさせる。
【学びに向かう力、人間性等】
工業の意義や役割を理解し、工業技術の諸問題を主体的、合理的に、かつ倫理観をもって解決し、工業と社会の発展を図る創造的な能力と実践的な態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	機械加工に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けるとともに、現代社会における工業の意義や役割を理解している。	機械加工に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	機械加工に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身に付けている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1期	旋盤Ⅰ	・切削の原理 ・旋盤操作説明 ・切削工具の選択 ・旋盤加工 ・作品の評価と成果表現 ・安全作業、報連相	a:旋盤に関する基本的な知識と技術を身につけ工業の意義や役割を理解している b:旋盤に関する基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている c:旋盤について関心をもち主体的に取り組みと実践的な態度を身に付けている。	レポート 製作品	レポート 発表	行動観察 発表 振り返りシート
2期	フライス盤Ⅰ	・切削の原理 ・フライス盤操作説明 ・切削工具の選択 ・フライス盤加工 ・作品の評価と成果表現 ・安全作業、報連相	a:フライス盤に関する基本的な知識と技術を身につけ工業の意義や役割を理解している b:フライス盤に関する基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている c:旋盤について関心をもち主体的に取り組みと実践的な態度を身に付けている。	レポート 製作品	レポート 発表	行動観察 発表 振り返りシート
3期	溶接Ⅰ	・溶接の原理 ・酸素・アセチレン ・移動用溶接機・ガス集合装置の取り扱い ・突き合わせ溶接 ・ガス切断 ・アーク溶接 ・安全作業、報連相	a:溶接に関する基本的な知識と技術を身につけ工業の意義や役割を理解している b:溶接に関する基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている c:溶接について関心をもち主体的に取り組みと実践的な態度を身に付けている。	レポート 製作品	レポート 発表	行動観察 発表 振り返りシート
4期	手仕上げ	・安全教育 ・各種測定工具取り扱い ・けがき作業 ・やすり作業 ・穴あけ加工 ・ねじ立て加工	a:仕上に関する基本的な知識と技術を身につけ工業の意義や役割を理解している b:仕上に関する基本的な知識と技術を基に適切に判断し表現する力を身に付けている c:仕上について関心をもち主体的に取り組みと実践的な態度を身に付けている。	レポート 製作品	レポート 発表	行動観察 発表 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度